

和宗総本山
四天王寺

極楽浄土の庭



「極楽浄土の庭」は、元々昭和八年に武者小路千家の茶匠木津家の三代目木津幸齋宗泉（一八六二―一九三九）の設計により造園されたもの。庭域を横切るように設けられた長い川と池を特徴とした当時の庭園は、長らく一般公開していなかったが、平成十五年に基本的構造を受継ぎつつ、後述の仏教説話に基づき修繕改修が行われた。また、これを機に一般公開されることとなった。

現在の庭園の構造は、中国唐代の僧善導が説いた「二河白道」の説話に基づく。庭園に流れる二つの河は、衆生の貪りや執着を表す「水河」と瞋りや憎しみを表す「火河」であり、その間には衆生の善心と信仰心を表す「白道」が続き蓮池「極楽浄土の池」に行き着く。参詣者は説話の通り、二河に落ちないよう細く作られた参道の白道を歩み極楽浄土の池を目指し、池に鎮座する阿弥陀三尊石の出迎えを受けることとなる。

また庭園には様々な季節の顔があり、桜や紅葉はもちろん、夏季には極楽浄土の池全体に茂る蓮華を観覧することができる。



✕ 本坊庭園・中心伽藍の拝観料 ✕ 4月～9月 8:30～16:30 / 10月～3月 8:30～16:00
(共に最終受付閉門15分前)

	大人	高・大学生	小・中学生
本坊庭園	300 (200)	200 (100)	200 (100)
中心伽藍	300 (200)	200 (100)	無料

※（ ）は団体割引です。団体割引は30名以上で適用いたします。幼児・園児は無料です。
 ※2月、3月、5月、6月、7月、9月、10月、11月は1日～10日まで養生日として休園いたします。
 ※また、上記以外でも本山の都合により拝観できない日がございます。ご了承ください。
 ※その他、パンフレット内の詳細は四天王寺本坊にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ 06-6771-0066

ゆやほうじょう

《湯屋方丈》 (国の重要文化財)

元和9年(1623)徳川秀忠公による再建。方丈とは住職の居室をさし、天海大僧正が四天王寺執務の際、在住されたのがこの方丈である。湯屋とはお風呂の事。再建当初は六時堂裏にあった食堂の東側に建てられていたが、明治33年に床間や違棚などを改修し現在の地に移築した。現在は、毎年5月に厳修される授戒灌頂会の礼拝道場としても使用されている。



湯屋方丈

じゅかいあんじょうえ

あらはかいなりだいみょうじん

《荒陵稻荷大明神》

庭園の北東隅には「正一位 荒陵稻荷大明神」をお祀りする。その左の社にはだきに吒呎尼天をお祀りする。かつては同様の社が数ヶ所に祀られていたが、廃仏毀釈や大阪大空襲により焼失し、唯一残存の社が北東隅、いわゆる鬼門鎮守のこの荒陵稻荷である。平成28年に稻荷社周辺を荘厳した後、改めて京都の伏見稻荷大社より神璽^{しんじ}を勧請して寺域の鎮守を御願いすることとなった。



荒陵稻荷大明神

はっかくてい

《八角亭》 (国の登録有形文化財)

明治36年(1903)に大阪天王寺会場を中心に開催された「第五回内国勧業博覧会」に於いて「小奏楽堂^{しょうそうがくどう}」として建てられた建造物である。博覧会終了後にこの建物を四天王寺が譲り受けたのであるが、現存する博覧会の建物はこの八角亭を除いて一切残っていない。このことから、貴重な明治時代の建造物として、平成9年7月に登録文化財の指定を受ける。



八角亭

一心大神 いちがんおおかみ

一心大神^{べんざいてん}は辯才天の別名で、厨子内には頭に宇賀神^{うがじん}を随える白龍辯才天がお祀りされています。白龍辯才天と宇賀神はどちらも衆生に福をもたらす福神であり、一心大神という名は、『四天王寺一心聖典』祈願の一節「信心の香を焼いて一心^{いちがん}を祈請するものなり」に由来します。また、毎月巳^みの日には例祭が厳修される。

和松庵 わしょうあん 4月～9月 9:00～16:30 / 10月～3月 9:00～16:00 (共に最終受け閉門15分前)

昭和45年に故松下幸之助氏の寄進により数寄屋造りに建てられた。庵内には十畳の座敷とテーブル席があり風情を感じながらお茶を楽しむ事ができる。

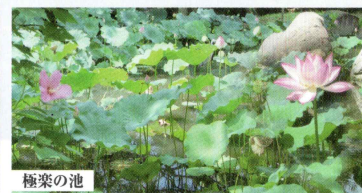
お茶菓子とお茶セット
¥1,000



五智光院



本坊



極楽の池



補陀落の庭

五智光院は、文治三年(一一八七)後白河法皇により建立されたのが始まりで、法皇は此処で灌頂^{くわんてい}(頭頂に法水を灌ぎ佛の智慧を頂いて佛種の萌芽^{ぶつしゅ}を期し佛と結縁するための儀式)に勤め、灌頂堂と号したと伝えられる。現在のお堂は元和九年(一六二三)に徳川秀忠により再建されたもので、昭和二十九年九月に国の重要文化財の指定を受ける。

元和再建時は西大門(極楽門)の南側、現在の弘法大師像付近に建てられており、明治三十四年(一九〇一)に現在の地に移された。ご本尊は五智如来で、ご本尊の他に如意輪観音像・大日如来像・普賢菩薩像・聖徳太子撰政像がお祀りされている。また、江戸幕府將軍家の位牌を安置していることでも知られる。

創建当初より、後白河法皇の灌頂堂として建てられた経緯から、現在でも檀信徒並びに四天王寺学園ら学生達に灌頂を行う道場となっている。



和松庵



千人斬りの碑



瑠璃光の池

五智光院
ごちこういん

(国の重要文化財)